

ともしび保育園



2020年2月1日 発行

限りがあるからこそ尊い命

2月です。今年の冬は例年よりだいぶ暖かい日が続いていますね。予報では春の訪れも早くなりそうだということですし、また心配な花粉の量も去年の6～7月に気温が低かった影響で例年の6割程度ということですので、少しだけホッとしています。

1月から外壁の修繕工事が始まっています。利用者の皆様にはご不便をお掛けしておりますが、ご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。今のところ工程は順調に進んでおります。3月初旬の終了まで、今しばらくお待ちいただければと思います。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

先日、妻の姉から私の娘に「寿命図鑑」という本がプレゼントとして送られてきました。実は2016年に出版されたとき書店で少しだけ手に取ったことがあって、当時とても気に入っていたのですがその後忘れてしまっていた本だったので、はじめは娘より私の方が喜んでしまいました。

図鑑という名が付いていますが基本的には絵本で、生き物だけでなく身の回りのありとあらゆるものから天体に至るまで、幅広くその「寿命」の長さやエピソードが、可愛らしいイラストとともに書かれています。儂く短いもの、気が遠くなるほど永いもの、環境や使い方、また人間の都合によって変わるものなど、今まで知らなかった沢山のことに娘も興味津々で読んでいました。

この本の帯にはこう書かれています。「みんな、いつか、死んでしまう」。言葉だけ聞くとギョッとしてしまうかもしれませんが、全ての命がその中で懸命に生きていること、全てのものがその役割を果たすために存在していること、だから

尊いし、大切にしなければいけないということ、読み進めるうちに自然と感ぜられるようになる本です。大人と一緒に読めば4、5歳くらいからでも楽しめると思いますので、機会があったら是非ご覧になってみてください。



園長 山田 英